

【23_197技術系メルマガ】ほとんどの人が『リスクを管理』できない理由

〇〇さん

こんにちは、クロです。

「トレードで一番怖い瞬間ってどんなとき？」ときかれましたら、皆さんはどう思うでしょうか？

指標でチャートがぎゅんぎゅん上下しているとき、含み損がどんどん膨らむさまを見ているとき、、、

想像する場面は色々だと思います。

僕にとって一番怖いと思う瞬間は『負けた直後の自分の思考回路』です。

僕は過去の失敗の経験などから流石に学習しましたが、負けた直後の思考回路というのは自分で思っている以上にポンコツになっています。

▼参考ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1679325895159578626?s=20>

ツイートの中でも言及したように、1回の負けをキッカケに大きく損失を膨らませてしまう要因のなかでもっとも多い例は

確定損失を取り返すためのリベンジトレード、更にその際にルールを逸脱していつもより大きくロットを張ってしまうことです。

これは、冷静なときには頭の中でも「危ない事」と認識しているのに、ついやってしまった(今でもやってしまう)という人は多いと思います。

このやり方がなぜ危険なのかは、ちょっとした算数をやってみると実感できるので

一緒にやってみましょう。

～～～

例えば、海外口座に20000円のお金を入れて、普段『0.1ロット、10pipsの損切りでクロス円を中心にトレード』していると仮定します。

その場合、1回のトレードでの損失は約1000円。スタート元金(20000円)に対して『5%のリスク』を取っている状態です。

さて、ある時ドル円でトレードして1回損切りとなりました。

ここで熱くなったクロさん(仮名)、自分の目線を信じて同じ目線でのエントリーで0.2ロット張って勝負しに行ってしまいました。

この時元金は『19000円』です。この時負けた場合の損失額と、損失率を計算してみてください。

- ・
- ・
- ・

まず、損失額は簡単ですね、2000円です。

リスクの計算は、最初の元金から計算する人、残金から計算する人で結果は変わりますが

今回は残金(19000円)から計算してみると、なんと『10.5%』のリスクを取っている事になります。最初の2倍以上のリスクを取っているわけです。

こうして数値化してみると、負けた後にロットを上げて損を取り返そうとするのがどれだけ危険な賭けであるかがよくわかるでしょう。

このようなやり方は、もはやイチかバチかの博打であって、僕からしたらトレードですらないと思います。

ですがこの時点では損した直後の人の立場としては冷静ではないので、そこで一步立ち止まって考えている余裕はないわけです。

ですから、毎度これを計算して考えるのではなく

常に「こういうことをすると、上に書いたようなことになる」という事を『理解しておく』ことが重要です。

Twitterにも書きましたが、仮にこれでよしんば勝てたとしても、このやり方に味を閉めてしまったら最後、取り返しのつかないレベルで大きく負けるまで、この悪癖から抜け出せなくなります。

その先はご想像の通り、資金全損・退場しかありません。

自分が一貫したトレードルールを持っていて、それに従ってトレードするのを徹底する重要性を理解していれば

今日書いた内容を『リスク管理の考え方』として頭に入れておくことで、自分が大事故を起こさないようにすることに最大限の注意を払って取り組むように意識できるはずですよ。

そうすれば日ベースで負けることはあったとしても、月ベースで大負けするというような、最悪な事態を引き起こすことはなくなっていくでしょう。

「博打遊び」ではなく『トレード』をできるようになりましょう。